

Q 神戸におけるパートナーシップ制度が創設

これまでの経緯

- 2022年 6月 本会議で伊藤めぐみが一般質問で質問する
- 2022年 10月 福祉環境委員会で、陳情第158号「神戸市において同性パートナーシップ承認制度の創設に向けた協議を開始してください」が採択
- 2023年 5月 2023年中に制度を創設すると市長答弁

伊藤：制度の創設を訴えてきた一人として、神戸市の取り組みを高く評価している。今までこの制度がなかったことで不利益を受けてきた同性パートナーと暮らしている人たちや、悩みや生きづらさを抱えている市民の方々に寄り添う制度とすることが重要である。神戸市におけるパートナーシップ制度についてどのような姿勢で取り組むのか。

A 副市長：市民に寄り添った対応を行い、同性異性などの性別に関わらず、また性的マイノリティの方も含め、互いを人生のパートナーとして尊重し合い、日常生活においても対等な立場で継続的に支え合い、欠かすことのできない関係として認め合う2人の関係を応援し、共同生活の困難さを解消できる制度として具体的に検討を進めていきたいと考えている。全ての市民の人権が尊重され、その個性や能力を発揮する機会が保障される多様性のある社会を実現する。国県などの関係機関や専門家、当事者支援団体との連携を含め、市民の理解促進や生活上の困り事などを解消できる取り組みなど、幅広い観点で取り組みを進めていきたい。

伊藤の要望

LGBTQの悩みを抱えている児童生徒や高校生や学生、若い世代のみなさんに寄り添っていく等、学校園での取り組みも大変重要です。様々な人が暮らす神戸の街、多様性が尊重される神戸市へとさらに進化していくために、庁内外の取り組みを進めてください。



～誰にも相談できずに、一人で悩んでいませんか？～
 神戸市
LGBTQ 電話相談
 毎月第2・4木曜日 / 17:00 ~ 20:00
 ☎ 078-322-5043



質疑したこと

- こども中心の施策について
- 墓園と斎場の今後について
- 不登校児童生徒の支援策について
- 神戸市におけるパートナーシップ制度について

◀ 本会議場にて質疑しました

神戸のこどもたちが、自分らしく生きていく支えになりたい！

市会議員として9年目の今。

教育こども委員会〔教育委員会・こども家庭局〕のメンバーとして学校や教育の課題、子育ての課題に日々取り組んでいます！

